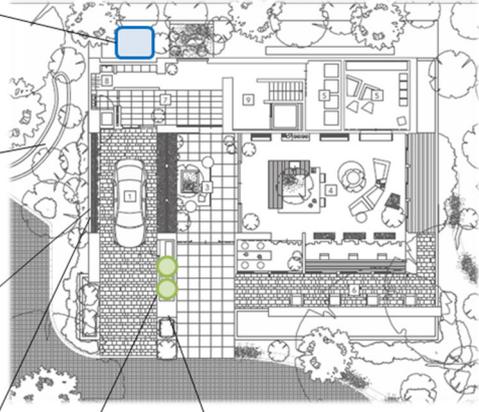


建物名称	高井戸展示棟 Green Infrastructure Model	 <p>家族と社会のために、長期にわたって多様な利用ができる住まい</p>
所在地	東京都杉並区	
施工年	2021年	
構造・構法・規模	木質パネル接着工法、地上2階建 延床面積：317.60㎡	
事業者名	ミサワホーム株式会社	
設計者・施工者 (改修業者)	ミサワホーム株式会社	
増改築・リフォーム の種別	—	
新築・増改築 ・リフォーム のテーマ・特徴	環境・地球 (green) に貢献するとともに、持続可能な社会と暮らしを支えるインフラ (infrastructure) の一つとしてデザインされた住宅モデル ヒト×モノ×まち を柔軟につなぐ 社会的機能を備えた住まい	

採用された 環境共生要素技術	省エネ	<ul style="list-style-type: none"> 多様な活動ができ長期利用を可能にする構造・耐久性能の向上とメンテナンスの仕組み (「省資源」共通) 雨水タンクによる屋根面への降雨の貯留、蒸発冷却ルーバーや植栽に自動で灌水するシステム、非常時のための雨水ろ過システム、屋内外の温度差を感知して窓が自動で開閉する涼風制御システム (「健康快適」共通) 三電池 (太陽電池、燃料電池、蓄電池) の採用 V2H システムによる家⇄自動車の双方向電力融通
	省資源	<ul style="list-style-type: none"> 多様な活動ができ長期利用を可能にする構造・耐久性能の向上とメンテナンスの仕組み (「省エネ」共通) 雨庭「M Rain Garden」(Biotope, Bio Swales, Plants)による雨水の浸透・貯留 (「親和性」共通)
	親和性	<ul style="list-style-type: none"> 雨庭「M Rain Garden」(Biotope, Bio Swales, Plants)による雨水の浸透・貯留 (「省資源」共通) ABW (Activity Based Working) 設計とバイオフィリックデザインを取り入れたオフィス空間 大開口調光ガラスをパーテーションの採用
	健康快適	<ul style="list-style-type: none"> 雨水タンクによる屋根面への降雨の貯留、蒸発冷却ルーバーや植栽に自動で灌水するシステム、非常時のための雨水ろ過システム、屋内外の温度差を感知して窓が自動で開閉する涼風制御システム (「省エネ」共通)
先導事業・認定等の取得	特に無し	




ビオトープや雨庭が地域の生き物の生育や雨水循環系の改善に寄与し居住者と地域をつなぐ役割を果たす



雨水を段階的に戻す工夫と雨を庭に取り込んで楽しむ工夫をかねる「M Rain Garden」



ABW (Activity Based Working) 設計とバイオフィリックデザインを取り入れ、仕事内容に合わせて働く空間を選べるオフィス空間

環境共生要素技術を導入した効果	雨水の利用に加え、浸水被害を軽減する防災外構やV2Hを含む蓄電池、燃料電池、太陽電池の三電池と併せ、平常時の省エネ性や快適性と非常時の備えを両立。 1階多目的スペースの活用により、長期的な用途変更による利用が可能に。 ABW 設計とバイオフィリックデザインを取り入れたオフィス空間が利用者のストレスを軽減させ生産性を向上。	
詳細情報	住所	東京都杉並区高井戸東2丁目4番地5
	ホームページ	https://www.misawa.co.jp/kengaku/park-tokyo/
	TEL	—